

令和 8 年度 (2026 年度) 第 1 期募集
新潟大学大学院総合学術研究科 修士課程入学者選抜試験

問題冊子

試験科目	臨床心理学
-------------	--------------

出題分野	MA05 臨床心理学分野	科目名	臨床心理学
選抜区分	一般選抜	解答用紙	枚数：合計 4 枚以内 (1 問につき 1 枚使用)
<p>問1. 令和5年7月に性犯罪に関する法改正が行われた。そのうち、不同意わいせつ罪・不同意性交等罪に関する以下の設問1)～設問3)について答えなさい。解答は解答用紙に問番号・設問番号を明記してから記入しなさい。</p> <p>設問1) 主な改正の内容を2つ以上答えなさい。</p> <p>設問2) この改正で言われている「同意しない意思を形成し、表明し若しくは全うすることが困難な状態」とは、どのような状態か答えなさい。</p> <p>設問3) 「同意しない意思の形成・表明・全うが困難な状態」の原因となり得る行為・事由として想定されている例について答えなさい。</p> <p>問2. 以下の設問1)～設問3)について答えなさい。解答は解答用紙に問番号・設問番号を明記してから記入しなさい。</p> <p>設問1) 行動分析学における「動機づけ操作 (Motivating Operation)」について、具体例を交えて説明しなさい。</p> <p>設問2) 確証バイアスについて、臨床場面における具体例も交えて説明しなさい。</p> <p>設問3) 以下のそれぞれの番号の空欄にもっとも当てはまると思われる用語を記入しなさい。</p> <ul style="list-style-type: none">・同一の個人に対して同一の条件のもとで同一のテストを繰り返し実施したとき、一貫して同一の得点が得られる程度を、テスト得点の (1) とよぶ。・ある要因と従属変数の関係が、別の要因の水準によって異なることを (2) とよぶ。・複数の生理指標を同時に測定する検査を (3) と呼ぶ。・同一の参加者(被験者)が複数の条件を適用されるとき、順序が後ろの条件で測定した従属変数に、練習、順応、疲労などが影響してしまうことを (4) とよぶ。・参加者同士が本音を語り合うなかで、自己理解や他者理解を深めながら自己成長をめざすグループを (5) とよぶ。			

出題分野	MA05 臨床心理学分野	科目名	臨床心理学
選抜区分	一般選抜	解答用紙	枚数：合計 4 枚以内 (1 問につき 1 枚使用)

問3. 以下の設問1), 設問2) について答えなさい。解答は解答用紙に問番号・設問番号を明記してから記入しなさい。

設問1) 以下の文章について、①～⑩に当てはまる語句を記入しなさい。

- (1) カール・ロジャーズが提唱した人間性心理学では、クライアント中心療法におけるセラピストの3つの基本的態度、すなわち無条件の積極的関心、(1), および(2)が重要視される。
- (2) アルバート・エリスが開発した(3)療法では、出来事、信念、結果の3つの要素からなる(4)モデルが心理的問題の背景にある病理理論として提唱されている。
- (3) 精神分析において、フロイトが提唱したパーソナリティの構造モデルは、イド(エス)、(5), (6)の3つから構成される。このうち、(5)は現実原則に従ってイド(エス)と(6)のバランスをとる役割を担っている。
- (4) (7)は、自我が不安や葛藤から身を守るために無意識的に用いる心理的なメカニズムであり、フロイトの娘である(8)によって体系化された。
- (5) (9)は、人がメッセージとメタメッセージが矛盾するようなコミュニケーションの状況にさらされることが統合失調症のような症状を引き起こすとして、(10)という概念を提唱した。

設問2) 以下の事例を読んで解答しなさい。

20 代会社員のクライアント A は、会社の会議で意見を求められて発言したところ、上司から準備不足を指摘され恥ずかしい思いをしてしまった。それ以降、A は会議や上司の前で発言することに強い不安を感じ、発表の機会を避けるようになった。この事例に対し、認知行動療法の観点から適切であると考えられるアプローチ方法について述べなさい。

出題分野	MA05 臨床心理学分野	科目名	臨床心理学
選抜区分	一般選抜	解答用紙	枚数：合計 4 枚以内 (1 問につき 1 枚使用)
<p>問4. 以下の問題1～問題3のうち、いずれか一つのみを選択し、解答しなさい。 解答は解答用紙に選択した問題番号・設問番号を明記してから記入しなさい。</p> <p>問題1 以下の2つの設問について答えなさい。</p> <p>設問1) 子どもの癇癪を主訴として「保護者」が来談した場合に、支援をする上で留意すべき点を述べなさい。また、あなたが支援者であったら、どのような情報を収集するか述べなさい。</p> <p>設問2) マインドフルネス・エクササイズを抑うつ症状に対する効果を、システマティック・レビューによって調べたい。具体的な文献収集の計画を立てなさい。</p> <p>問題2 以下の3つの設問について答えなさい。</p> <p>設問1) 日本版DBS (Disclosure and Barring Service) について説明しなさい。</p> <p>設問2) 発達性協調運動症について説明しなさい。また、その特性によって生じ得る問題や困難について答えなさい。</p> <p>設問3) 令和4年10月に閣議決定された「自殺総合対策大綱」において、女性の自殺対策の推進強化が新たに位置づけられた。その背景と具体的な支援について答えなさい。</p> <p>問題3 以下の文章を読み、設定された設問に解答しなさい。</p> <p>ある心理学研究室で、「音楽の種類が集中力に与える影響」について検討する実験が行われました。実験の概要は以下の通りです。</p> <p>研究目的:集中力を高める音楽のタイプを特定する。</p> <p>実験方法:</p> <p>参加者: 大学生 60 名。</p> <p>群分け: 無作為に以下の3つの群に分けた。</p> <p>A 群 (クラシック音楽): 課題遂行中にクラシック音楽を聴く。</p> <p>B 群 (アップテンポなポップス): 課題遂行中にアップテンポなポップスを聴く。</p>			

出題分野	MA05 臨床心理学分野	科目名	臨床心理学
選抜区分	一般選抜	解答用紙	枚数：合計 4 枚以内 (1 問につき 1 枚使用)

C群(無音楽): 課題遂行中に音楽を聴かない。

課題: 参加者全員に、指定された時間内に文字の誤植を見つける校正作業を行わせた。

測定: 10分間あたりの誤植発見数(従属変数)を測定した。

実験結果:

実験の結果、各群の平均誤植発見数は以下の通りでした。

A群(クラシック): 平均25個

B群(ポップス): 平均18個

C群(無音楽): 平均22個

研究者は、この3群の平均値に統計的に有意な差があるかを調べるため、一元配置分散分析(One-way ANOVA)を実施しました。

変動要因	自由度	平方和	平均平方	F値	p値
群間	2	342.5	171.25	5.48	0.007
群内	57	1782.1	31.26		
合計	59	2124.6			

本研究の結果について、以下の研究者による考察が正しいか誤りかを判断し、その理由を述べなさい。

設問1)

この研究を行った研究者は、「p値が0.05を下回っているため、音楽の種類によって集中力に統計的に有意な差があることが示された。したがって、集中力を高めるためにはクラシック音楽を聴くのが最も効果的であると結論づけられる。」と述べた。

設問2)

一方でこの研究を行った研究者は、「今回の実験では、どの音楽が集中力に良い影響を与えるかについて、参加者の主観的な好みは考慮されていない。もしB群(ポップス)の参加者がクラシック音楽を好む傾向にあった場合、結果に影響を与える可能性があるため、この結果だけで音楽と集中力の因果関係を断定することはできない。」と述べた。